

単元名 たのしかったよ ドキドキしたよ(絵)

配当時間 5時間

単元の目標 (1) 心に残ったことを自分なりに表すために、形や色を工夫してかくことができる。
 (2) 生活の中で心に残った出来事やそのときの感じを基に、表したいことを考えとともに、友達と絵を見せ合いながら、表したかったことや表し方の工夫を話し合うことができる。
 (3) 生活の中で楽しかったことやドキドキしたことなどを思い出し、そのときの感じを楽しく絵に表そうとする。

標準的な展開例

02080105_001

【準備等】画用紙、色画用紙、共同絵の具、作品カード、クレヨン、パス、サインペン、割り箸 など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 生活の中から、楽しいと感じたときのことを思い浮かべどんな絵をかくか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の参考作品を見て、気付いたことや感想を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 桜の花が鼻について楽しそう。 大きい飛行機が近くで見られていいな。 楽しかったことをいっぱいかいて貼ってあるよ。 ★生活の中から楽しかったことやドキドキしたことを思い出して絵に表そう 生活の中から、楽しかったことやドキドキしたときの様子を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 鉄棒をした。 うさぎをだっこしたら温かった。 遠足に行ったときのお弁当がおいしかった。 妹となわとびをして遊んで楽しかった。 かくことを決める。 <ul style="list-style-type: none"> かきたいもの 人の表情や動作 周りの風景や物 <p>2～4 楽しかったことやドキドキしたことを伝えるように、形や色、大きさを考えながら絵に表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 線でかく。 <ul style="list-style-type: none"> 桜をかきたいから、ピンクの画用紙にかこう。 大きな飛行機にびっくりしたから、飛行機を大きくかきたいな。 彩色する。 <p>○絵に表しながらイメージを広げて、加えたいことや思い付いたことを表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 飛行機のそばに、荷物を運ぶ車もかこう。 昼だと分かるように、短い線をいっぱいかくよ。 <p>5 表した絵を友達と見せ合い、感想を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品カードを書く。 <ul style="list-style-type: none"> 作品の題 一番表したかったこと 友達と作品を見せ合い、楽しかったこと、ドキドキしたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 桜の花びらが飛んできて、鼻についたときは、とっても面白かったよ。 これは、夏の海水浴のとき、これは秋に散歩をしたときの思い出だよ。 一番かきたかったのは、大きなエンジンだよ。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書上1・2下 P.26, 27 教科書の参考作品を見せて、かいた児童の気持ちを想像させる。 形や色、表し方の工夫にも注目させる。 大きな行事だけでなく、日常の何気ない場面でもよいことを助言する。 楽しかったことやドキドキしたことを発表できる場を設けることで、かきたいことが思い付かない児童もかきたいことが思い付くようにする。 その時の気持ちを思い出し、情景を思い浮かべさせる。 絵と一緒に見て、表したいことに共感しながら、形や色、大きさや位置などをどのようにするか考えるように促す。 【評】生活の中で、心に残ったできごとを思い出す活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 クレヨンやパスなどを使い、楽しい感じになるように形や色を考えながら絵に表す。 画用紙や色画用紙を準備し、自分の表したいものに合った色を選べるようにする。 絵の具は、前もって教師が皿に水で溶き、その色専用の筆を用意しておく。 児童にパレットに代わる皿で各色をとらせ、皿の中で混色して使うようにさせる。 絵の中心にかくものがかけたら、そのときの場面や気持ちを表すために、周りをどうしたらよいのかを考えたり、材料を工夫したりして、表していけるように促す。 【評】作品を通して、心に残ったこと出来事やそのときのことを感じを基に表したいことを考える「思考・判断・表現」を評価する。 【評】作品を通して、心に残ったことを自分なりに表すために、形や色を工夫する「知識・技能」を評価する。 そのときの気持ちを表すような題を考えさせたり、絵で表せなかった気持ちを書かせたりする。 友達と絵を見合いながら、自分が絵で一番表したかったことを話すように促す。 作品カードを手掛かりに、気持ちを表そうとしているところや表現の工夫に気付かせる。 【評】友達と絵を見せ合う活動を通して、表したかったことや表し方の工夫に気付く「思考・判断・表現」を評価する。

【備 考】

特別な教科道徳との関連

Cー(16)「他国の人々や文化に親しむこと」との関連が深い。紙面にある「外国の友だちの絵」を活用したい。

他教科との関連

生活科の活動や学校行事、学校生活の中からも表したいことを見付けられるようにするとよい。